

第3期 事業報告

2021年3月1日から
2022年2月28日まで

一般社団法人大学スポーツ協会

第3期実施事業の概況報告

I 総括

2021年度においても新型コロナウイルスの影響は大きいものの、さまざま対策を施しつつ事業を実施いたしました。このような環境の下で、本協会としては予定していた事業の実施時期や実施形態の変更を適宜行うとともに、コロナ禍においてもスポーツを存続させることを目的に、運動部学生や大学・競技団体に対する支援プログラムを実行して参りました。結果として、年度当初に設定した会員数目標は未達成であったものの、パートナーとの共同事業の進展や学生・大学・競技団体支援プログラムを通じて、UNIVAS に対する認識や存在価値の浸透は図られてきた一年でありました。

II 新型コロナウイルスの影響と対応

(1) 事業活動への影響

1) 主催イベントの延期・縮小

- ▶三密の回避、不要不急な事柄自粛の要請を受け、当初予定していた各種事業においては、その事業の特性に応じて変更を行った。

開催見合わせ	・ UNIVAS CUP 2021-22 の指定大会においては、ソフトテニス・ボクシングの2大会が中止となった。
開催手法変更	・ ありもり会議、リーダーズキャンプ（東京開催）はオンラインに変更して開催をした。

2) テレワークの推進

- ▶緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出を受けて、事務局業務においてもテレワークの推進による出勤者数の削減、通勤混雑解消に向けたフレックスタイム制を実施した。

-8/15	・ 週2出勤・テレワーク体制	・ ~3/21 緊急事態措置
8/16-9/12	・ 出勤者ゼロ・テレワーク体制	・ 4/12~4/24 まん延防止等重点措置 ・ 4/25~6/20 緊急事態措置
9/13-2/13	・ 週1出勤・テレワーク体制	・ 6/21~7/11 まん延防止等重点措置 ・ 7/12~9/30 緊急事態措置
2/14-	・ 出勤者ゼロ・テレワーク体制	・ 1/21~まん延防止等重点措置

※緊急事態宣言等の発出日は、東京都に対する日付としています。

(2) 会員における感染拡大防止活動のサポート

1) 官公庁通達の一元化と会員への発信

- ▶内閣官房からの全般にわたるコロナ対策やイベントに関するガイドライン、文部科学省からの大学に対する通達などに関しては、UNIVAS がハブとなって大学・競技団体会員に通達を伝達した。

各種通達の伝達	30回
---------	-----

2)スポーツ活動再開ガイドラインの更新

- ▶昨年度策定した with コロナ環境での運動部活動における順守事項等のガイドラインを新たな感染予防策や政府の方針を踏まえ更新を行った。オフィシャルサイトに掲載することにより、UNIVAS 会員のみならず広く一般への発信を行っている。
また、学生向けの感染拡大防止対策ムービーを制作し、HP にて公開した。

4/28	・3 回目の緊急事態宣言が特定の対象区域に発出されたことを受け、第 4 版を公開。
5/21	・学生向けの感染拡大防止対策ムービーを制作し、HP にて公開。
9/6	・デルタ株等の変異株、ワクチン接種の情報を追加し、第 5 版公開。
1/25	・オミクロン株、新たな感染対策、政府の方針を踏まえた第 6 版を公開。

(3) 運動部学生と会員を支援する新たなプログラムの展開

1)学生アスリートのモチベーションキープ

①試合動画の共有サービス開始

- ▶UNIVAS が保有する UNIVAS CUP 試合動画を、会員大学・競技団体に貸与、会員の自サイトで展開することで会員のスポーツプロモーションをサポートする仕組みを展開。

利用 会員	9 競技団体 1 大学	日本学生サーフィン連盟 全日本学生テニス連盟 日本馬術連盟 全日本大学バレーボール連盟 日本オリエンテーリング協会 全日本学生アーチェリー連盟 日本学生ライフル射撃連盟 (現:日本学生射撃スポーツ連盟) 全日本学生柔道連盟 日本スポーツチャンバラ学生連盟 日本体育大学
----------	----------------	---

2)スポーツ活動継続に向けたサポート

①体温・体調管理システムの無償提供

- ▶運動部活動の再開に当たってはメンバーの日々の体調管理が重要であることから、株式会社ユーフォリアの協力のもと、部としてのメンバー体調管理をサポートする「ONE TAP SPORTS 体調管理システム」の希望運動部への無償提供を実施した。

無償提供期間	2021/4/1～2022/3/31
利用運動部数	330 運動部
利用運動部員数	7,023 名

②UNIVAS CUP 指定大会の開催支援

i) スポーツセーフティネット制度

- ▶天候与件等不可抗力な事由により試合・大会が中止になった際の増加費用を補償する保険制度を新設、UNIVAS CUP 指定大会 30 大会を補償の対象として大会開催における競技団体のリスク軽減を図った。

対象 30 大会	全日本大学野球選手権記念大会
	全日本学生アーチェリー男子王座決定戦
	全国大学ゴルフ対抗戦
	日本 U23 トライアスロン選手権
	全日本学生なぎなた選手権大会
	日本学生テニス選手権大会
	全日本学生カヌースプリント選手権大会
	全日本学生レスリング選手権
	全日本大学ソフトボール選手権大会（女子）
	全日本大学ソフトボール選手権大会（男子）
	全日本大学選手権大会（ボート）
	全日本大学アルティメット選手権大会 本戦決勝戦
	全日本学生柔道体重別選手権大会
	全日本学生テコンドー選手権大会
	日本学生オリエンテーリング選手権①
	全日本学生馬術大会
	秋季全日本学生サーフィン選手権大会
全日本学生ホッケー選手権大会	

全日本大学アメリカンフットボール選手権
全日本学生ハンドボール選手権大会
少林寺拳法全日本学生大会
全日本学生空手道選手権大会
全日本バレーボール大学男女選手権
全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（男子）
全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（女子）
スポーツチャンバラ全日本学生大会
全日本大学バスケットボール選手権大会
全日本学生スキー選手権大会
全日本学生グライダー競技大会
日本学生オリエンテーリング選手権②

ii) 無観客試合に対する広報支援

- ▶ 当初日程からの延期により開催を果たした UNIVAS CUP 指定大会もほとんどが無観客開催を強いられた為、UNIVAS LIVE としてライブ配信を拡大して配信し、現地で応援できない学生や大学関係者への情報発信を行った。

※配信実績は 18 ページの動画配信実績に含む

iii) 試合会場での感染拡大防止対策備品の供給

- ▶ 無観客開催であっても選手や大会関係者に対するコロナ感染防止対策は必要なため、検温システムやアルコール消毒液等の感染対策備品の貸し出しと供給を行った。

供給先大会	供給物	総額
第 60 回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦 第 56 回全日本学生アーチェリー女子王座決定戦 第 58 回全国大学ゴルフ対抗戦 第 44 回全国女子大学ゴルフ対抗戦 第 60 回全日本学生なぎなた選手権大会 日本学生テニス選手権大会（第 89 回男子） 日本学生テニス選手権大会（第 65 回女子） 第 57 回全日本学生カヌースプリント選手権大会	サーモグラフィ 非接触型体温計 手指用アルコール消毒液 設備用アルコール消毒液	4,612 千円

<p>全日本学生レスリング選手権大会(フリースタイル) (グレコローマン・女子)</p> <p>第 56 回全日本大学女子ソフトボール選手権大会</p> <p>第 56 回全日本大学男子ソフトボール選手権大会</p> <p>第 48 回全日本大学選手権</p> <p>第 32 回全日本大学アルティメット選手権大会 本戦決勝戦</p> <p>全日本学生柔道体重別選手権大会 (男子 40 回)</p> <p>全日本学生柔道体重別選手権大会 (女子 37 回)</p> <p>第 15 回全日本学生テコンドー選手権大会</p> <p>全日本学生スポーツ射撃選手権大会 (第 68 回男子総合)</p> <p>全日本学生スポーツ射撃選手権大会 (第 34 回女子総合)</p> <p>インカレスプリント・ロング 2021 (オリエンテーリング)</p> <p>インカレミドル・リレー2021 (オリエンテーリング)</p> <p>全日本学生馬術大会</p> <p>第 50 回秋季全日本学生サーフィン選手権大会</p> <p>第 70 回男子全日本学生ホッケー選手権大会</p> <p>第 43 回女子全日本学生ホッケー選手権大会</p> <p>全日本大学アメリカンフットボール選手権</p> <p>第 55 回少林寺拳法全日本学生大会</p> <p>全日本学生空手道選手権大会</p> <p>第 74 回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学 男子選手権大会</p> <p>第 68 回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学 女子選手権大会</p> <p>全日本大学対抗選手権大会男子(ウェイトリフティング)</p> <p>全日本大学対抗選手権大会女子(ウェイトリフティング)</p> <p>第 28 回スポーツチャンバラ全日本学生大会</p> <p>全日本大学バスケットボール選手権大会</p> <p>第 95 回全日本学生スキー選手権大会</p> <p>第 62 回全日本学生グライダー競技大会</p>	<p>ハンドソープ</p> <p>フェイスガード</p> <p>ド</p> <p>ペーパータオル</p> <p>ビニール袋</p> <p>ビニール手袋</p> <p>除菌ウェット ティッシュ</p>	
---	---	--

iv) 競技団体横断型での補助金申請

➤上記 ii) 及び iii) の具現化においては、該当する競技団体を UNIVAS が取り纏め、ス

ポーツ庁が進める「スポーツイベント開催支援事業」の補助金一括申請を行った。

補助金受給団体	補助金総額
公益社団法人 日本アメリカンフットボール協会 全日本学生アーチェリー連盟 公益社団法人 日本ウエイトリフティング協会 公益社団法人 日本オリエンテーリング協会 全日本学生カヌー連盟 一般社団法人 全日本学生空手道連盟 公益財団法人 日本学生航空連盟 日本学生ゴルフ連盟 一般社団法人 日本学生サーフィン連盟 一般財団法人 少林寺拳法連盟 一般社団法人 全日本学生柔道連盟 公益社団法人 全日本学生スキー連盟 一般社団法人 日本スポーツチャンバラ学生連盟 日本学生ソフトテニス連盟 全日本大学ソフトボール連盟 一般社団法人 全日本テコンドー協会 全日本学生テニス連盟 公益財団法人 全日本なぎなた連盟 全日本学生ハンドボール連盟 公益社団法人 日本馬術連盟 一般財団法人 全日本大学バスケットボール連盟 一般財団法人 全日本大学バレーボール連盟 一般社団法人 日本フライングディスク協会 日本学生ホッケー連盟 公益社団法人 日本ボート協会 日本学生ライフル射撃連盟 (現:日本学生射撃スポーツ連盟) 全日本学生レスリング連盟	91,983 千円

III 実施事業の概要

1. 学業充実・デュアルキャリア形成施策の提供・推進事業

(1) UNIVAS 研修会の開催

- ▶ コロナ禍の影響を鑑み、オンライン方式にて大学スポーツ管理者セミナー、大学スポーツ指導者セミナー（修了証発行講座）を開催した。

	月日	参加者

		大学・競技団体数	人数
大学スポーツ 管理者セミナー	8/31	36	39
	9/3	36	42
大学スポーツ 指導者セミナー (修了証発行講座)	8/25	26	40
	8/30	35	58
合計		133	179

(2) 入学前教育プログラムの提供

▶ 大学入学後の学業充実の準備に向けて、スポーツ推薦等入学予定者等を対象とした入学前の教育プログラムに加え、その教材を通年で活用する導入教材として展開した。

1) 入学前教育プログラム

▶ 前年度モデル大学での実施結果を踏まえて、より親しみやすい教材を開発し、モデル大学を中心に、アカデミックパートナーである株式会社 KEI アドバンスとともに展開した。

- ・ 13 モデル大学 871 人にプログラムを提供。
- ・ 2 大学 710 人がプログラムを有償使用。

教科	教材
—	1. 大学の運動部学生のための学びのハンドブック *
—	2. スポーツ知への招待 *
数学	3. 運動部学生のためのスポーツ探究数学入門 *
英語	4. 運動部学生のためのスポーツ探究英語入門 *
日本語	5. 大学生活 学びのための「読む」「書く」入門 *
英語	6. Qubena 中高英語 by 河合塾【オンライン教材】
数学・英語	7. 河合塾 One 基礎コース【オンライン教材】
数学・英語	8. 河合塾 One 標準コース【オンライン教材】
数学・英語	9. 学力判定テスト (プレ・ポスト) 【オンライン教材】

* モデル大学への提供教材

2) 大学での学びの動機付けをするための学修支援ツール

▶ 大学での学びの動機付けをするための学修支援ツールとして、運動部学生のための学びのハンドブック、スポーツ知への招待を通年で活用することができるよう展開

- ・ 16 モデル大学 3,522 人に教材を提供。

(3) デュアルキャリア形成支援プログラムの提供

▶ 在学生のデュアルキャリア形成をサポートするプログラムをトップパートナー企業である株式会社マイナビと協業にて推進した。

1) DC ONLINE

▶My UNIVAS メニューとして、a)オンラインセミナー・b)自己分析ツール・c)キャリア相談窓口の3メニューを展開した。オンラインセミナーに関しては、本年度全12テーマをリリースした。

a)オンラインセミナー	・受講人数 615人
b)キャリア適性診断	・受検人数 400人
c)キャリア相談窓口	・相談利用人数 683人

2)リーダーズキャンプ

▶運動部キャプテン対象のリーダーシップや組織マネジメントを学修するセミナー。一部の開催について新型コロナウイルス感染状況を踏まえて、オンライン方式にて開催した。

12/4	オンライン開催	受講者 9人
1/15	東京会場から オンライン開催へ変更	受講者 5人
1/16	オンライン開催	受講者 16人
1/22	オンライン開催	受講者 13人
2/6	オンライン開催	受講者 18人
2/19	オンライン開催	受講者 18人
2/28	桃山学院大学	受講者 45人
合計		受講者 124人

3)組織マネジメント研修 GMG(Great ManaGer)ミーティング

▶運動部の主務・マネージャーを対象に組織マネジメントを学ぶ研修会をオンライン形式で開催した。

3/1	オンライン開催	受講者 31人
3/14		受講者 20人
3/15		受講者 36人
3/30		受講者 21人
10/31		受講者 6人 (運動部管理者・指導者向け)
11/7		受講者 6人
11/13		受講者 6人
11/21		受講者 4人
11/27		受講者 4人
12/5		受講者 6人
12/11		受講者 8人
12/19		受講者 12人
合計		受講者 160人

4)人間力育成セミナー、じぶんづくり Lab.

- ▶運動部の管理者/指導者（人間力育成セミナー）、運動部学生（じぶんづくり Lab.）を対象に、運動部活動を通じて学生の人間力を向上させるための研修をオンラインにて実施した。

テーマ	月日	人間力育成セミナー	月日	じぶんづくり Lab.
創造力	6/25	受講者 53 人	6/27	受講者 13 人
環境理解力	7/16	受講者 33 人	7/18	受講者 17 人
人間理解力	8/20	受講者 27 人	8/22	受講者 22 人
振り返り	9/17	受講者 18 人	9/26	受講者 0 人
主体性	10/25	受講者 15 人	10/18	受講者 28 人
課題発見力	11/29	受講者 12 人	11/22	受講者 22 人
計画力	12/20	受講者 12 人	12/13	受講者 11 人
生き抜く力	1/31	受講者 25 人	1/24	受講者 19 人
挑戦し続ける力	2/28	受講者 7 人	2//21	受講者 3 人
合計		受講者 202 人		受講者 135 人

5)自己認識力養成プログラム

- ▶DC ONLINE のキャリア適性診断を活用した、自己認識力の向上を目指したプログラムを展開した。

6/20	オンライン開催	受講者 44 人
9/10		受講者 32 人
12/6		受講者 59 人
2/4		受講者 63 人
合計		受講者 198 人

6)コミュニケーション講座

- ▶運動部の指導者と学生幹部スタッフが一緒に参加し、「コミュニケーション」や「モチベーション」について学ぶセミナーを展開した。

8/28	オンライン開催	受講者 13 人
1/30		受講者 8 人
合計		受講者 21 人

7)就職セミナー

- ▶運動部学生 3 - 4 年生を対象に出遅れがちな就職活動をサポートする運動部学生専用プログラムの展開を開始した。

3/8	運動部学生のための就職セミナー (東京、愛知、大阪、福岡 同時開催)	参加者 452 人
6/8	スポーツに打ち込む学生必見！ インターンシップまるわかりスクール	参加者 484 人

9/25,10/9, 10/23	運動部学生と会いたい企業が集まる就職 WEB セミナー	参加者 24 人
2/2	スポーツに打ち込む学生必見！ 就職活動まるわかりスクール	参加者 314 人
2/21	運動部学生のための業界研究 WEB セミナー	参加者 897 人

(4) 「運動部学生の学修支援となる単位数めやす」の公表

- ▶運動部学生における学業と運動部活動の両立を更に進めることを目的に、卒業所要単位数を計画的に取得することを導く手法のひとつとして「運動部学生の学修支援となる単位数めやす」を策定し公表した。

2. 安全安心なスポーツ環境整備の推進事業

- ▶冒頭に記した新型コロナウイルス感染拡大防止への対応に加え、「UNIVAS SSC 制度」を開設。「UNIVAS 安全安心ガイドライン」や「UNIVAS 相談窓口」の普及活動を推進した。

(1) UNIVAS SSC 制度

- ▶UNIVAS 安全安心ガイドラインにて規定した 13 項目に関する実現状況を実査評価し、認証を発行する「UNIVAS SSC 制度」を開設した。

SSC 発行	3 会員	[SSC 発行会員] ・中京大学・公財)日本学生航空連盟・IPU 環 太平洋大学
予備審査受講済み	10 会員	
説明会参加	120 会員	

(2) 相談窓口の設置

- ▶大学の運動部におけるハラスメント問題等に関して、学生のみならず関わる指導者や父兄からの相談を直接承る「UNIVAS 相談窓口」を継続開設。認知拡大に向けてポスター等による告知強化を行った。

	重大な相談案件	軽微な相談案件	合計	コンプライアンス委員会取扱件数
相談件数	5	13	18	5

(3) 安全安心対策の助成

- ▶運動部活動の安全性を向上させる為に、「医療従事者等の配置事業」を推進した。本事業は、大会や練習試合等の現場に医療従事者等を立ち合わせることによって、事故発生の際に瞬時に的確な対処ができるようにするものである。会員の申請に基づき、その費用を UNIVAS が負担して配置する事業として toto 助成事業に認定されている。新型コロナウイルスの影響による大会の中止等も多少あったが、ほぼ予定通りの結果となった。

	合計
--	----

配置件数 / 人数	44 件 / 182 人
金額	10,704 千円

[医療従事者等の配置大会一覧]

	大会名	開催場所	開催期間	配置人数
1	2021 年度東海学生柔道夏季優勝大会 兼 東海学生女子柔道夏季優勝大会	愛知県体育館	5/22	4
2	令和 2 年度東京六大学野球春季リーグ戦	明治神宮野球場	4/10～5/30	6
3	神戸学院大学アメリカンフットボール部 練習試合	吹田市エキスポフラッシュフ ィールド、近畿大学 E キャン パスグラウンド	6/12～19	3
4	関東学生テニストーナメント大会	大宮けんぼグラウンド	4/19～6/10	3
5	第 70 回全日本大学野球選手権記念大会	明治神宮野球場	6/7～13	4
6	2021 春季フェスタ大会	中京大学豊田キャンパスラグ ビー場、四日市ドーム	4/24～6/26	2
7	ビーチバレーボール NEXT2021 第 4 回 全日本ビーチバレーボール U-23 男女選 抜優勝大会	大蔵海岸公園海水浴場	7/17～18	1
8	ビーチバレーボールジャパンカレッジ 2021 第 33 回全日本ビーチバレーボール大学 男女選手権大会	大蔵海岸公園海水浴場	7/15～16	1
9	関西学生春季テニストーナメント	江坂テニスセンター	7/13～20	6
10	第 60 回全日本学生なぎなた選手権大会	山形県総合運動公園	8/7～8/8	1
11	2021 年度東海学生柔道体重別選手権大会 (第 40 回) 兼 2021 年度東海学生女子柔道体重別選手権 大会(第 38 回)	愛知県武道館	8/29	4
12	全日本学生テニス選手権大会	四日市テニスセンター	8/11～8/24	9

13	神戸学院大学体育会サッカー部トレーニングマッチ	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	4/4~8/17	2
14	第71回北海道大学バスケットボール春季選手権大会	函館アリーナ	7/3~18	1
15	第40回全日本大学ホッケー王座決定戦・東西交流戦	立命館 OIC フィールド、親里ホッケー場	7/8~11	3
16	第15回全日本学生テコンドー選手権大会	横浜清風高等学校体育館	10/9~10	2
17	令和3年度第67回全日本学生ウェイトリフティング個人選手権大会	いしかわスポーツ総合センター	10/22~24	4
18	全日本学生馬術大会 2021	山梨県馬術競技場	10/29~11/3	9
19	令和2年度東京六大学野球秋季リーグ戦	明治神宮野球場	9/18~10/31	6
20	神戸学院大学体育会サッカー部トレーニングマッチ	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	10/2~11/27	1
21	第70回男子・第43回女子全日本学生ホッケー選手権大会	川崎重工ホッケースタジアム	10/30~11/3	3
22	2021年度大学対抗テニス王座決定戦	愛媛県総合運動公園	11/8~13	2
23	第73回全日本大学バスケットボール選手権大会	国立代々木競技場第2体育館、大田区総合体育館、エスフォルタアリーナ八王子	12/6~12	23
24	関東学生テニス選手権大会本戦	大宮けんぼグラウンド	11/15~25	3
25	2021年度全日本学生室内テニス選手権大会	江坂テニスセンター	11/28~12/5	4
26	中四国学生アメリカンフットボール連盟秋季公式戦	広島広域公園第二球技場	10/9~11/20	10
27	2021秋季リーグ戦(東海学生アメリカンフットボール連盟)	中京大学豊田キャンパス、テラスポ舞鶴ウエスト、愛知県口論義運動公園蹴球場、他	9/4~11/27	3
28	令和3年度全日本大学レスリンググレコローマンスタイル選手権大会	J:COM 末広体育館	10/9~10	2

29	文部科学大臣杯 UNIVAS CUP 令和3年度全日本学生レスリング選手権大会	駒沢オリンピック公園総合運動場体育館	10/13~14	4
30	2021年第50回秋季全日本学生サーフィン選手権大会	千葉県鴨川市東条海岸	11/27~28	3
31	2021年度全日本学生柔道体重別選手権大会(男子40回女子37回)	千葉ポートアリーナ	11/25~26	11
32	2021年度日本学生オリエンテーリング選手権大会	栃木県矢板市	11/20~21	1
33	第74回秩父宮賜杯全日本大学バレーボール男子選手権大会 第68回秩父宮妃賜杯全日本大学バレーボール女子選手権大会	大田区総合体育館	11/29~12/5	2
34	神戸学院大学体育会サッカー部 トレーニングマッチ	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	12/4~12/13	1
35	2021年度北陸学生アメリカンフットボール秋季戦/西日本トーナメント	金沢市営球技場、一宮市光明寺公園競技場	10/17~ 11/13	3
36	第32回全日本大学アルティメット選手権大会	北海道恵庭市恵庭墓園多目的広場、埼玉県熊谷市熊谷スポーツ文化公園、他	10/16~2/12	9
37	第93回全日本学生馬術選手権大会/第57回全日本学生馬術女子選手権大会	蒜山ホースパーク	11/26~28	1
38	文部科学大臣杯 UNIVAS CUP 令和3年度全日本学生レスリング選手権大会(女子)	キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター	11/4~5	3
39	令和3年度文部科学大臣杯第67回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(II部)	はびきのコロセアム	11/5~7	2
40	令和3年度文部科学大臣杯第67回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(I部)	サイデン化学アリーナ	12/7~9	3
41	令和3年度文部科学大臣杯第67回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(女子)	金沢市総合体育館	12/16~17	3
42	関西学生アメリカンフットボールリーグ戦	万博記念公園(EXPO FLASH FIELD)、長居公園(ヤンマースタジアム長居、)、他	2021/6/12~ 2022/12/25	7

43	神戸学院大学体育会サッカー部 トレーニングマッチ	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	2022/2/11～3/29	2
44	第95回全日本学生スキー選手権大会	秋田県鹿角市花輪スキー場	2022/2/23～27	5
配置人数 合計				182

(4) 安全安心ガイドラインの啓蒙活動

▶昨年度に引き続き、「安全安心フォーラム」をオンラインで開催。「新型コロナウイルスワクチンの必要性」と「大学スポーツの安全安心なケガ対策の未来図」の2つをテーマに、シドニーオリンピック競泳銅メダリストの田中雅美氏、元サッカー日本代表の岩政大樹氏、UNIVAS 安全安心作業部会の田中秀治氏（国土舘大学）、中田研氏（大阪大学）、伊東克氏（帝京大学）の5名のメンバーで新型コロナウイルスやワクチン接種に関する情報の提供、with コロナ時代の大学スポーツの安全安心についての討議を行った。

12/17	19:30-21:00	視聴者数 198
-------	-------------	----------

3. 大学スポーツ認知拡大の推進事業

(1) 競技横断型大学対抗戦の開催

▶大学スポーツとしてのブランディングと露出強化によるファンの開拓を目的として、「UNIVAS CUP 2021-22」と銘打った競技横断型大学対抗戦を開催した。

[指定大会の概要]

開催指定大会	・30 競技 33 大会（下記一覧表参照）
大会中止とした競技	・2 競技（ソフトテニス・ボクシング）

[開催指定大会一覧]

	大会名	開催期間	開催場所	参加大学数	総ポイント数
1	全日本大学野球選手権記念大会（野球）	6/7-6/13	明治神宮野球場 東京ドーム	男子 27 校	27,000
2	全日本学生アーチェリー王座決定戦	6/19-6/20	つま恋リゾート	男子 18 校 女子 18 校	3,000
3	全国大学/全国女子大学ゴルフ対抗戦	6/24-25	石川県片山津	男子 16 校 女子 11 校	3,000
4	全日本学生なぎなた選手権大会	8/8	山形県総合運動公園	50 校	1,000

5	全日本学生テニス選手権大会	8/12-8/22	四日市テニスセンター	男子 45 校 女子 44 校	7,000
6	全日本学生カヌースプリント選手権大会	8/24-8/29	山形県西川町月山湖カヌースプリント競技場	男子 16 校 女子 15 校	1,000
7	全日本大学ソフトボール選手権大会（男子）	9/11-9/13	富山県岩瀬スポーツ公園ソフトボール場	16 校	5,000
8	日本学生選手権水泳競技大会	9/18-10/10	横浜国際プールなど	競泳：男子 26 校 競泳：女子 28 校 水球：男子 16 校 水球：女子 7 校 AS：16 校 飛込：男子 9 校 飛込：女子 11 校	7,000
9	全日本学生テコンドー選手権大会	10/10	横浜清風高等学校体育館	男子 3 校 女子 8 校	1,000
10	全日本学生レスリング選手権大会	10/13-10/14 11/4-11/5	駒沢オリンピック公園体育館、キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター	男子 41 校 女子 20 校	1,000
11	日本 U23 トライアスロン選手権	10/23	宮崎県宮崎氏	男子 8 校 女子 6 校	1,000
12	全日本学生馬術大会	10/26-11/3	山梨県馬術競技場	男女 39 校	1,000
13	全日本大学選手権大会(ボート)	10/28-10/31	戸田ボートコース	60 校	3,000
14	全日本学生ホッケー選手権大会	10/31-10/31	岐阜県川崎重工ホッケースタジアムなど	男子 24 校 女子 16 校	3,000
15	全日本大学アメリカンフットボール選手権	11/3-12/19	ヤンマースタジアム長居など	10 校	8,000
16	全日本大学ソフトボール選手権大会（女子）	11/9-11/11	富山県岩瀬スポーツ公園ソフトボール場	16 校	5,000

17	全日本学生ハンドボール選手権大会	11/6-11/10	小瀬スポーツ公園 体育館など	男子 32 校 女子 32 校	6,000
18	少林寺拳法全日本学生大会	11/7	日本武道館	130 校	3,000
19	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	11/11- 11/13	能勢町ライフル射撃場など	男子 25 校 女子 25 校	2,000
20	日本学生オリエンテーリング選手権 ロング・スプリント部門	11/20- 11/21	栃木県矢坂市	男女 43 校	2,000
21	全日本大学空手道選手権大会	11/21	日本武道館	男子 64 校 女子 49 校	3,000
22	全日本学生柔道体重別選手権大会	11/25- 11/26	千葉ポートアリーナ	男子 53 校 女子 34 校	6,000
23	全日本学生サーフィン選手権	11/27	鴨川市マルキポイント	35 校	1,000
24	全日本バレーボール大学男女選手権	11/29-12/5	大田区総合体育館など	男子 48 校 女子 48 校	14,000
25	全国大学ラグビーフットボール選手権大会	11/21-1/9	秩父宮競技場など	10 校	10,000
26	全日本大学対抗ウェイトリフティング選手権大会（男子）	12/7-12/6	サイデン化学アリーナ	31 校	500
27	全日本大学対抗ウェイトリフティング選手権大会（女子）	12/16- 12/17	石川県金沢市金沢市総合体育館	16 校	500
28	全日本学生スポーツチャンバラ選手権大会	12/4-12/5	小田原アリーナ	40 校	2,000
29	全日本大学バスケットボール選手権大会	12/6-12/12	国立代々木競技場 第二体育館など	男子 32 校 女子 32 校	12,000
30	全日本大学アルティメット選手権大会	12/11- 12/12	つま恋リゾート	男子 16 校 女子 16 校	4,000
31	日本学生オリエンテーリング選手権 ミドル・リレー部門	2/4-2/6	三重県伊賀市	男女 43 校	上記 18 に含む
32	全日本学生スキー選手権大会	2/23-2/27	秋田県鹿角市	男子 30 校 女子 14 校	2,000
33	全日本学生グライダー競技大会	3/7-3/12	埼玉県妻沼滑空場	男女 8 校	1,000

▶UNIVAS CUP 指定大会の熱戦の模様や出場アスリートの活躍を撮影し、SNS での発信やオフィシャルサイトに「PHOTO GALLERY」を開設して公開するとともに、My UNIVAS サービスの一環として、大会に出場した学生に写真を届ける”写真データダウンロードサービス”を展開した。

掲載競技	野球、アーチェリー、ゴルフ、なぎなた、テニス、カヌー、トライアスロン、テコンドー、少林寺拳法、ボート、サーフィン、レスリング、馬術、アルティメット、ホッケー、スポーツチャンバラ、ソフトボール、空手、ハンドボール、オリエンテーリング、柔道、バレーボール、ウエイトリフティング、バスケットボール、スキー 25 競技
ダウンロード数	4,680 枚

(2) 試合動画の配信

▶大学スポーツの注目度を向上させ、ファン開拓の促進を目的として、UNIVAS CUP 指定大会を中心に試合の動画を、UNIVAS オフィシャルサイトで無料配信した。同時に、パートナーの広告掲載によりパートナー企業にも露出価値を提供した。

本年はスポーツイベント再開支援事業の補助も受け、無観客開催となった指定大会の広報強化としてライブ配信の拡大、配信対象大会の拡大に向けて、まず競技人口が最も多い野球において東京六大学野球、東都大学野球の配信も開始した。

[配信結果]

- ・配信試合数：2,382 試合（前年比 155.8%）内ライブ 2,072 試合
- ・動画再生回数：2,521,116 回（前年比 251.6%）

[競技大会別配信実績]

	大会名	開催期間	配信試合数		視聴回数	
			ライブ	ハイライト	ライブ	ハイライト
1	全日本大学野球選手権	6/7-6/13	-	26	-	2,446
2	全日本学生アーチェリー王座決定戦	6/19-6/20	4	66	1,431	5,708
3	全国大学/全国女子大学ゴルフ対抗戦	6/24-25	-	2	-	1,919
4	全日本学生なぎなた選手権大会	8/8	91	91	9,016	3,154
5	全日本学生テニス選手権大会	8/12-8/22	312	312	228,825	30,460

6	全日本学生カヌースプリント選手権大会	8/24-8/29	62	62	10,587	5,414
7	全日本大学ソフトボール選手権大会（男子）	9/11-9/13	31	31	51,188	5,074
8	日本学生選手権水泳競技大会	9/18-10/10	水球 23 AS31	水球 23 AS31 競泳 32	水球 29,301 AS1,539	8,938 (競泳 865)
9	全日本学生テコンドー選手権大会	10/10	64	64-	4,006	1,329
10	全日本学生レスリング選手権大会	10/13-10/14 11/4-11/5	650	667	1,314	6,562
11	日本 U23 トライアスロン選手権	10/23	-	2	-	456
12	全日本学生馬術大会	10/26-11/3	5	5	3,273	6,100
13	全日本大学選手権大会(ボート)	10/28-10/31	180	180	37,508	19,342
14	全日本学生ホッケー選手権大会	10/31-10/31	40	40	28,015	10,025
15	全日本大学アメリカンフットボール選手権	11/3-12/19	-	9	-	1,842
16	全日本大学ソフトボール選手権大会（女子）	11/9-11/11	31	31	68,024	7,611
17	全日本学生ハンドボール選手権大会	11/6-11/10	62	62	81,545	70,370
18	少林寺拳法全日本学生大会	11/7	-	15	-	4161
19	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	11/11-11/13	-	6	-	970
20	日本学生オリエンテーリング選手権 ロング・スプリント部門	11/20-11/21	2	2	583	455
21	全日本大学空手道選手権大会	11/21	22	22	335	1,303

22	全日本学生柔道体重別選手権大会	11/25-11/26	42	42	3,733	7,456
23	全日本学生サーフィン選手権	11/27	-	35	-	1,572
24	全日本バレーボール大学男女選手権	11/29-12/5	96	96	336,417	124,420
25	全国大学ラグビーフットボール選手権大会	11/21-1/9	-	-	-	-
26	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（男子）	12/7-12/6	10	10	6,788	7,499
27	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（女子）	12/16-12/17	7	7	3,518	4,037
28	全日本学生スポーツチャンバラ選手権大会	12/4-12/5	33	33	1,083	4,178
29	全日本大学バスケットボール選手権大会	12/6-12/12	32	32	14,175	9,804
30	全日本大学アルティメット選手権大会	12/11-12/12	42	42	6,491	4,009
31	日本学生オリエンテーリング選手権 ミドル・リレー部門	2/4-2/6	2	2	272	229
32	全日本学生スキー選手権大会	2/23-2/27	8	20	6,768	5,209
33	全日本学生グライダー競技大会	3/7-3/12	-	1	-	3月公開

▶ 試合動画の制作に際しては、学生の参加を推進した。

1) 試合実況アナウンサーとして学生を起用

・ 事前にプロアナウンサーによるアナウンス講座を開催、受講学生が実況放送を担当した。

アナウンス講座	第1回：6/14 第2回：6/24 ＜現地開催＞クロスコープ新橋	参加者数 第1回：9名 第2回：6名
---------	-------------------------------------	-----------------------

・ 学生アナウンサー実況試合は以下の通り。

東都大学野球	首都大学野球	ハンドボール	アーチェリー	なぎなた
テニス	レスリング	カヌー	ソフトボール	水泳(水球、AS)
テコンドー	ボート	ホッケー	空手	バレー

ウエイトリフティング	フライングディスク	少林寺(ナレーション)
------------	-----------	-------------

2) 試合動画制作業務を学生が担当

・機材の貸し出し、使用方法の実地指導を行い、以下の試合にて学生が制作配信を行った。

首都大学野球 (68 試合)	バレーボール関東リーグ戦 (62 試合)	ハンドボール関東リーグ戦 (2 試合)
-------------------	-------------------------	------------------------

(3) 年間表彰の実施

➤UNIVAS の理念の浸透と実現に向けて、学生スポーツにおける学生アスリート・大学・競技団体等各関係者のあるべき姿・目指すべき姿を広く周知するために、理念に叶った活動を行った個人と組織団体の表彰を行う UNIVAS AWARDS 2021-22 を開催した。今回より「スポーツ庁後援」事業となり、3 部門の最優秀賞には「文部科学大臣賞」、1 部門の最優秀賞には「スポーツ庁長官賞」を授与した。応募団体数 44 団体（40 大学・4 競技団体）・応募総数 144 件。

また、夏季冬季オリンピック・パラリンピック競技大会に出場した現役運動部学生 112 名に特別賞を授与。3/28 オンライン表彰式（特別賞受賞者、パートナー企業代表者のみ会場招待）を開催。

[UNIVAS AWARDS 2021-22 コース別応募数表彰数]

#	表彰名	表彰数			応募数
		最優秀賞	優秀賞	入賞	
1	マン・オブ・ザ・イヤー*	1	8	18	28
2	ウーマン・オブ・ザ・イヤー*	1	9	19	29
3	パラアスリート・オブ・ザ・イヤー*	1	5	-	6
4	サポーターイングスタッフ・オブ・ザ・イヤー	2	5	6	13
5	スポーツマンシップ・オブ・ザ・イヤー	1	2	4	7
6	ルーキー・オブ・ザ・イヤー	2	3	11	16
7	アルムナイ・オブ・ザ・イヤー	1	-	-	7
8	コーチ・オブ・ザ・イヤー	1	4	8	13
9	学修機会確保に関する優秀取組賞	1	2	-	3
10	成績管理・対策に関する優秀取組賞	1	2	-	3

11	安全確保に関する優秀取組賞	1	2	2	5
12	大会・プロモーションに関する優秀取組賞	1	2	5	8
13	スポーツ統括部局/SA 賞*	2	3	1	6
	合 計	16	47	74	144*

*1-3 の最優秀賞には文部科学大臣賞、13 の最優秀賞にはスポーツ庁長官賞を授与。

*マン・オブ・ザ・イヤーにおいて、1 名が大学、団体双方から推薦を受けた為、応募数には反映。

*アルムナイ・オブ・ザ・イヤーは応募 7 件のうち 6 件は入賞に及ばなかった。

4. 大学スポーツファン拡大と組織化推進事業

(1) My UNIVAS・Our UNIVAS の登録

▶運動部学生を登録してデータベース化し、運動部・大学や競技団体が学生を管理できるようにするプラットフォームを開発、学生や運動部、大学や競技団体の登録を開始した。

	内容
My UNIVAS	<ul style="list-style-type: none"> ・会員組織に所属する運動部学生のプロフィールを登録してデータベースを形成。登録した学生には様々なオンラインサービスを提供。 ・My UNIVAS ユーザーへメッセージを送れる「お知らせ機能」、体調管理システム「ONE TAP SPORTS for UNIVAS」との連携、UNIVAS が提供する各プログラム等をまとめた「動画コレクション」等サービス提供を開始。初期登録のステップも簡素化し、ユーザーの利便性向上を図った。 ・2020/7/27 リリース、登録 13,219 人
Our UNIVAS	<ul style="list-style-type: none"> ・組織登録を基に、運動部学生を管理できるプラットフォームとして、運動部・大学・競技団体に利用を開放。 ・Our UNIVAS のダッシュボードをよりわかりやすくするなど UI を改善。 ・2020/7/27 リリース、管理者登録 146 大学、19 競技団体 37 地区連盟

▶My UNIVAS 登録者には以下のオンラインサービスを提供した。

デュアルキャリアプログラム	・オンラインセミナー、適性診断テスト、キャリア相談が可能
特別講座	・一流アスリートの体験談アーカイブの視聴が可能
PHOTO GALLERY	・UNIVAS CUP 指定大会の公式フォトのダウンロードが可能
学内研修会の手引き	・管理者向けに手引きを公開

(2) UNIVAS Plus のリリース

▶2021年9月10日、大学スポーツ観戦アプリ「UNIVAS Plus」をリリースアウト。大学スポーツファンの囲い込み促進に着手した。

・ダウンロード数	55,561
・ID登録数	44,529
・アーカイブ動画本数	29競技 3,983本

▶また、2022年2月9日「運動部動画投稿サービス」を開始、運動部作成動画の投稿受付を開始、2022年3月3日より、公開を行った。

(3) SNS フォロワーの拡大

▶Instagram オフィシャルアカウントの開設に加え、Twitter のコンテンツ更新を専門会社に委託し、タイムリーな情報発信を大学生へ展開し、フォロワーの拡大を図った。

	フォロワー数	月平均発信数	備考
Twitter	7,174	104	フォロワー数前年比 128% 投稿数は前年比 253%増
Instagram	5,356	12	約 50%が 13-24 歳の学生ユーザー フォロワー数前年比 190%

5. 会員組織運営のサポート推進事業

(1) 大学ガバナンス強化に向けた SA 配置事業の推進

▶SA 配置を促進する事業の一環として、意見交換会・シンポジウムを企画、当期内には意見交換会を開催した。

意見交換会には 6 大学の運動部を管理するご担当者の方に参加いただき、各大学の現状を共有し、「運動部支援を推進するための活動における課題」と「運動部支援に必要とされる組織体制を構築する上での課題」を中心に、ディスカッションを行った。

(2) コンプライアンス研修会の実施

▶大学・競技団体管理者を対象に、不祥事への対処・薬物乱用防止・アンチドーピング・SNS の注意事項をテーマにした研修会を開催、知見の共有と意識の徹底を図った。

第一回	3/5	オンライン開催	参加者 118 名
第二回	3/6	オンライン開催	参加者 101 名

(3) 不祥事対応に係る手引書の作成

▶昨年度に作成した競技団体のガバナンス体制や不祥事への対応事例集に続き、大学における大学スポーツに関する処分対応の現状や不祥事対応に当たっての検討事項やハラスメ

ント対応の方向性等を明示し、冊子化した。

大学における大学スポーツ不祥事対応に係る手引書	A4 サイズ・68 ページ
-------------------------	---------------

(4) 組織ガバナンス確立支援

- ▶ 会員競技団体における法人格取得に関する相談受付、アドバイスを実施した。法人格を有していない団体（日本学生ソフトテニス連盟、日本学生ライフル射撃連盟、全日本学生カヌー連盟、日本学生ゴルフ連盟、日本学生ホッケー連盟、全日本学生テニス連盟、全日本学生ハンドボール連盟、全日本学生アーチェリー連盟、全日本学生レスリング連盟、全日本大学ソフトボール連盟）に対して、アンケート、ヒアリング及び法務サポートを実施した。今年度は、1 団体が法人格を取得した。
- ▶ 2021 年 8 月 4 日加盟競技団体向け「法務相談窓口」を開設した。上述の 10 団体に対して、法務サポートを実施した。具体的には、法人格取得のサポート、規程等の整備、不祥事対応等を実施した。メールでの対応、web 会議を中心に競技団体へのサポートを実施しており、競技団体のガバナンス向上及び不祥事予防に取り組んでいる。

(5) 各種データ提供体制の整備

- ▶ 総合推進委員会に「DATA LIBRARY 検討部会」を設置し、情報体系の整備に着手した。大学スポーツの統括組織として、大学スポーツの振興に向けての有用なデータを加盟大学・競技団体及び社会に的確に発信していくために、既存情報や不足情報の整理を行った。

IV 事業を支える 4 施策

1. 会員の維持と開拓

- ▶ 会員とのコミュニケーションを緊密化すべく、以下の会議を開催した。

会議名	日付	開催方式	参加者数
大学代表者懇談会	12/9	ハイブリッド	70 大学
事業計画共有会	3/16、17	オンライン	32 大学、6 競技団体
情報共有会	10/26、27	オンライン	59 大学、3 競技団体

- ▶ 会員に対する事業紹介を目的としたメールマガジン「UNIVAS 通信」を毎月配信した。

購読登録者数	488 名
--------	-------

- ▶ 未加盟大学との個別コミュニケーションを積極的に行い、1 大学が正会員として加盟、1 競技団体が連携会員として加盟した。

京都橋大学	正会員	10/30 加盟
一般社団法人全日本フルコンタクト空手コミッション	連携会員	7/30 加盟

2. 新たなパートナー開拓の推進

- ▶新型コロナウイルス感染拡大により経済活動、社会活動が麻痺状態であったこともあり、新たなパートナー企業の開拓には至っていない。既存パートナー企業4社に対しては、企画会議を週次定例開催するなど密な連携を図った。

3. 学生の意見を反映する仕組みづくり

(1) UNIVAS STUDENT LOUNGE の設立

- ▶UNIVAS の活動に学生を参画させる目的で、学生メンバーを公募し、UNIVAS STUDENT LOUNGE(通称 U.S.L.)を6月10日よりスタートした。第1期メンバーは、東北大学、東洋大学、日本体育大学、中京大学、同志社大学、佐賀大学、九州大学など加盟、未加盟問わず、大学スポーツを盛り上げるために15名の学生が集まった。広報業務、映像制作チームの2つから活動を開始し、コロナ禍で集まることが出来ず、オンラインでのミーティングを重ねコミュニケーションを図った。実際に UNIVAS CUP の大会へ赴き、現地の速報やインタビューなどを通して、学生スポーツの現場を発信したり、学生自らが企画を考えて、クラブ紹介リレーや大学スポーツを支える学生スタッフにフォーカスをあてて、スタッフの価値向上に向けた取材など、学生が主体的に行動し、活動を実施した。

(2) ありもり会議の開催

- ▶当初予定からスケジュール変更、及び開催方式をオンラインに変更して開催。学生プレゼンターがテーマ毎にプレゼンを行い有森裕子氏 (UNIVAS 副会長) と対談形式で開催。様々な角度から大学スポーツの魅力に迫った。

日時	会場	参加者	テーマ	登壇者
10/24 20:00-21:30	オンライン	13名	「学生スタッフ」	有森裕子氏 (UNIVAS 副会長)、学生プレゼンター、司会
11/15 20:00-21:30		10名	「大学からスタートできる競技」	
12/19 20:00-21:30		13名	「新入生勧誘」	

4. 組織運営体制の整備

(1) 理事体制

- ▶初代会長であった鎌田薫氏が2021年4月1日付けを以て国立公文書館長として赴任することを受け、鎌田薫氏は同日付で代表理事会長を退任して名誉会長に就任、定款第34条の規定に基づき、副会長川原貴氏が同日付けで会長代行に就任した。
- ▶理事の任期満了を受け、2021年5月28日の定時社員総会及び臨時理事会にて理事を改選、新たな代表理事会長に福原紀彦氏が就任するとともに、以下の新役員体制とした。

代表理事会長	福原 紀彦		理事	大橋 節子	[新任]
執行理事 副会長	川原 貴		理事	冲永 寛子	

執行理事 副会長	有森 裕子		理事	国吉 誠	[新任]
執行理事 専務理事	池田 敦司		理事	小林 至	
執行理事 常務理事	筱崎 隆広		理事	小林 勝法	
執行理事	境田 正樹		理事	芝井 敬司	[新任]
執行理事	友添 秀則		理事	田中 愛治	[新任]
理事	伊坂 忠夫		理事	内藤 雅之	
理事	石井 隆憲	[新任]	理事	藤本 淳也	
理事	泉 正文		理事	寶金 清博	[新任]
理事	伊藤 亮介		理事	三宅 仁	
理事	梅村 清英	[新任]	監事	生田 圭	
理事	大澤 英雄	[新任]	監事	大塚 則子	

▶以下の通り理事会を開催し、協会事業推進を行った。無印:オンライン、*:ハイブリッド開催

3/23	臨時理事会	4/26	通常理事会	5/20	臨時理事会
5/28	臨時理事会	6/28	臨時理事会	7/30	臨時理事会
8/26	臨時理事会	9/28	臨時理事会	10/29	臨時理事会*
11/22	通常理事会*	12/21	臨時理事会*	1/31	臨時理事会
2/18	臨時理事会*	-	-	-	-

(2) 事務局体制

▶2022年2月末現在の事務局職員体制は以下の通り。

部	部長を含むメンバー数
デュアルキャリア部	4名
安全安心部	2名(うち兼務1名)
事業企画部	4名
DB開発部	5名
総合推進部	2名(うち兼務2名)
広報部	2名
組織運営部	4名
法務部	1名

経営企画部	1名（うち兼務1名）
-------	------------

(以上)